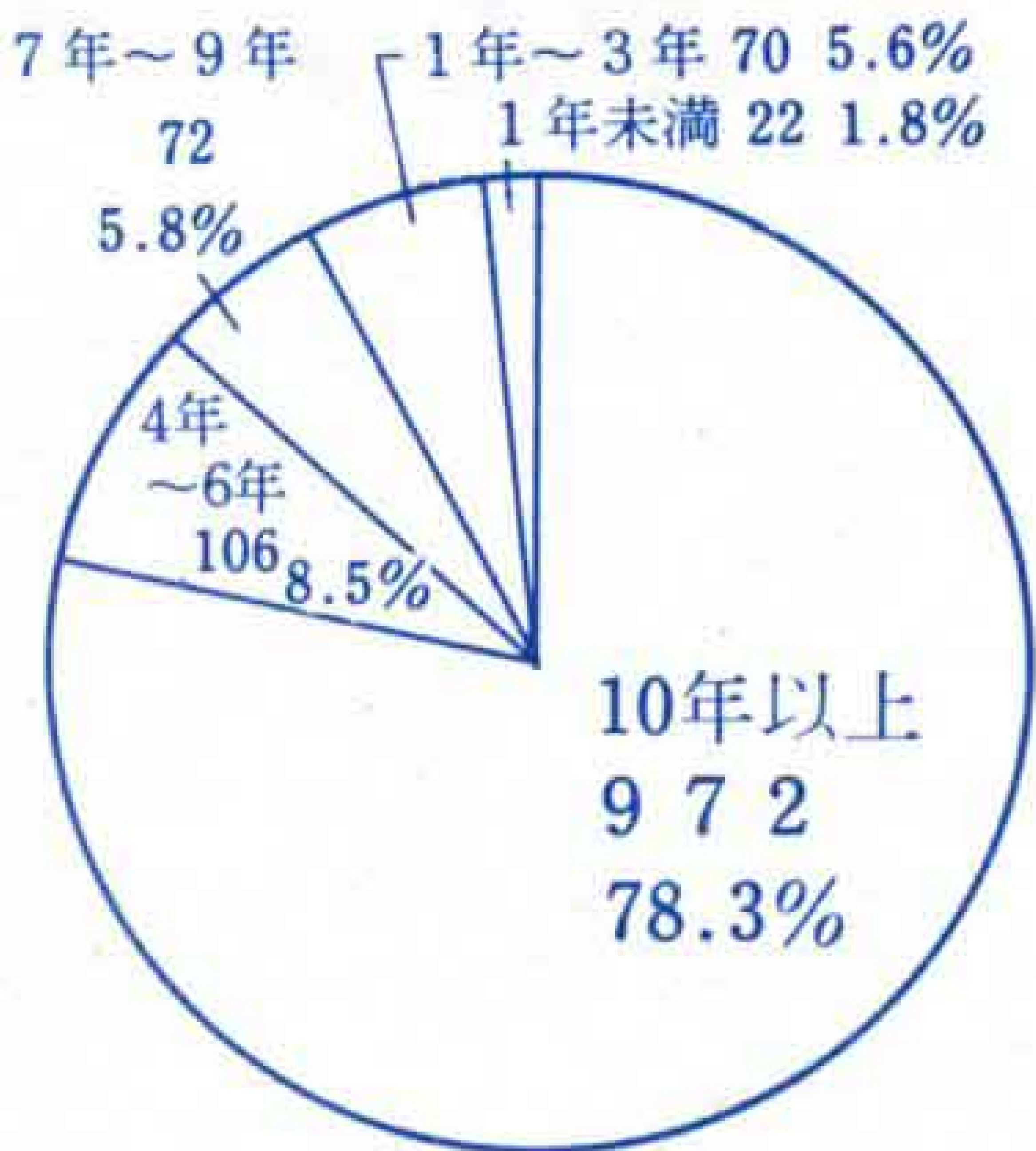


富士市に住んでいて、ふだんどのように感じているか調査を行いました。調査は、満20歳以上の男女2500名を無作為抽出し、郵送法で実施しました。回収したのは1249で、このうち有効回収票数は1242でした。調査結果は次のとおりです。なお、この調査に対しご協力ありがとうございました。

第1回世論調査結果

富士市に住んで

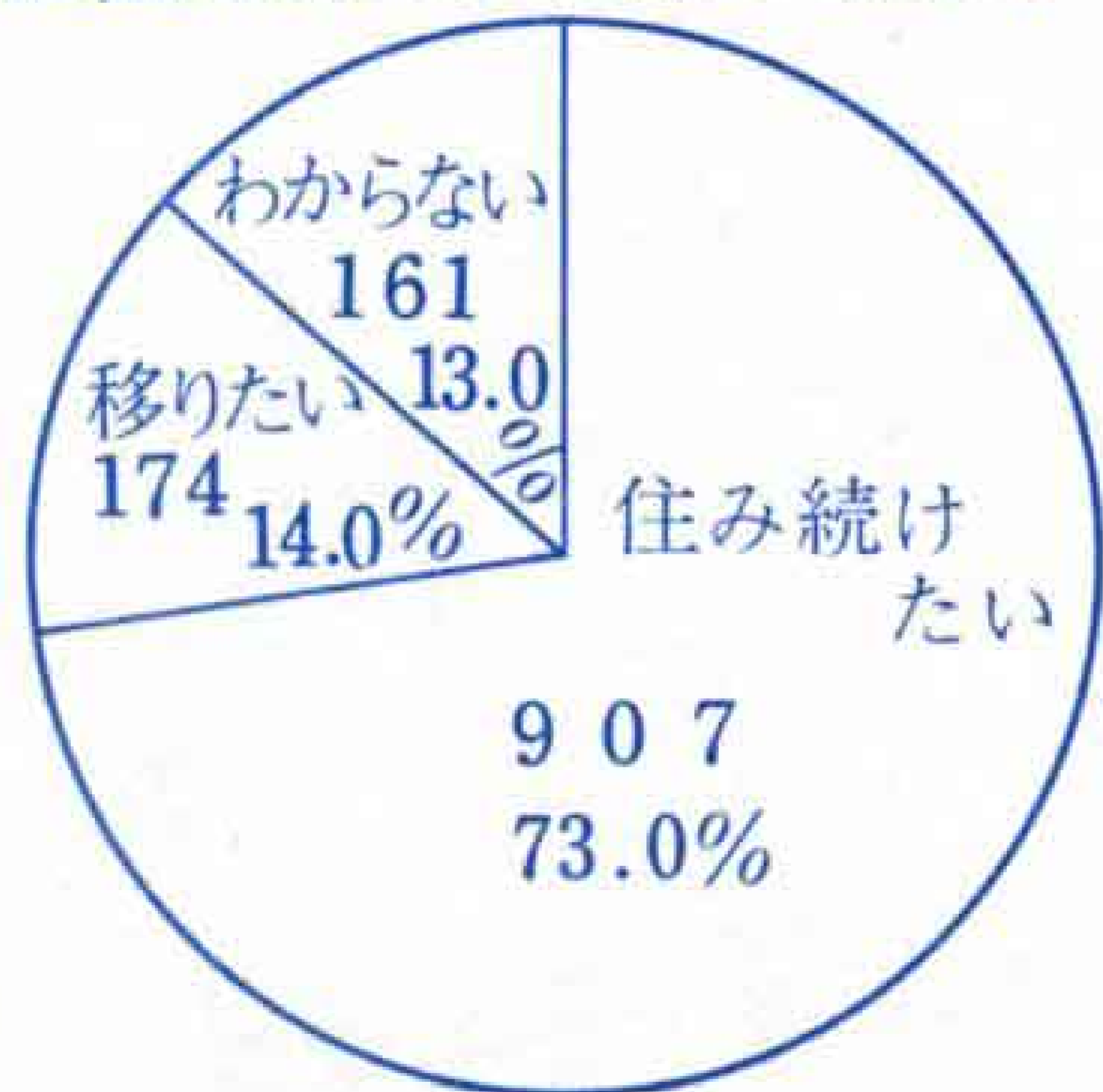
1. あなたは富士市にいつから住んでいますか



古くから富士市に住んでいる人が全体の78.3%を占めています。地区別の傾向をみると、吉原地区は1年未満と10年以上が他地区と比べ多くなっています。とくに1年未満は、吉永、大淵地区が多く住宅地として開発されていることがわかります。

富士地区は1年から3年の人が多くなっており、鷹岡地区は4年から6年と、7年から9年の人が多くなっています。

2. あなたはこれからも富士市に住んでいたいと思いますか



移りたいと答えた人は14%の174人。吉原地区が104人、富士地区が61人、鷹岡地区9人となっています。

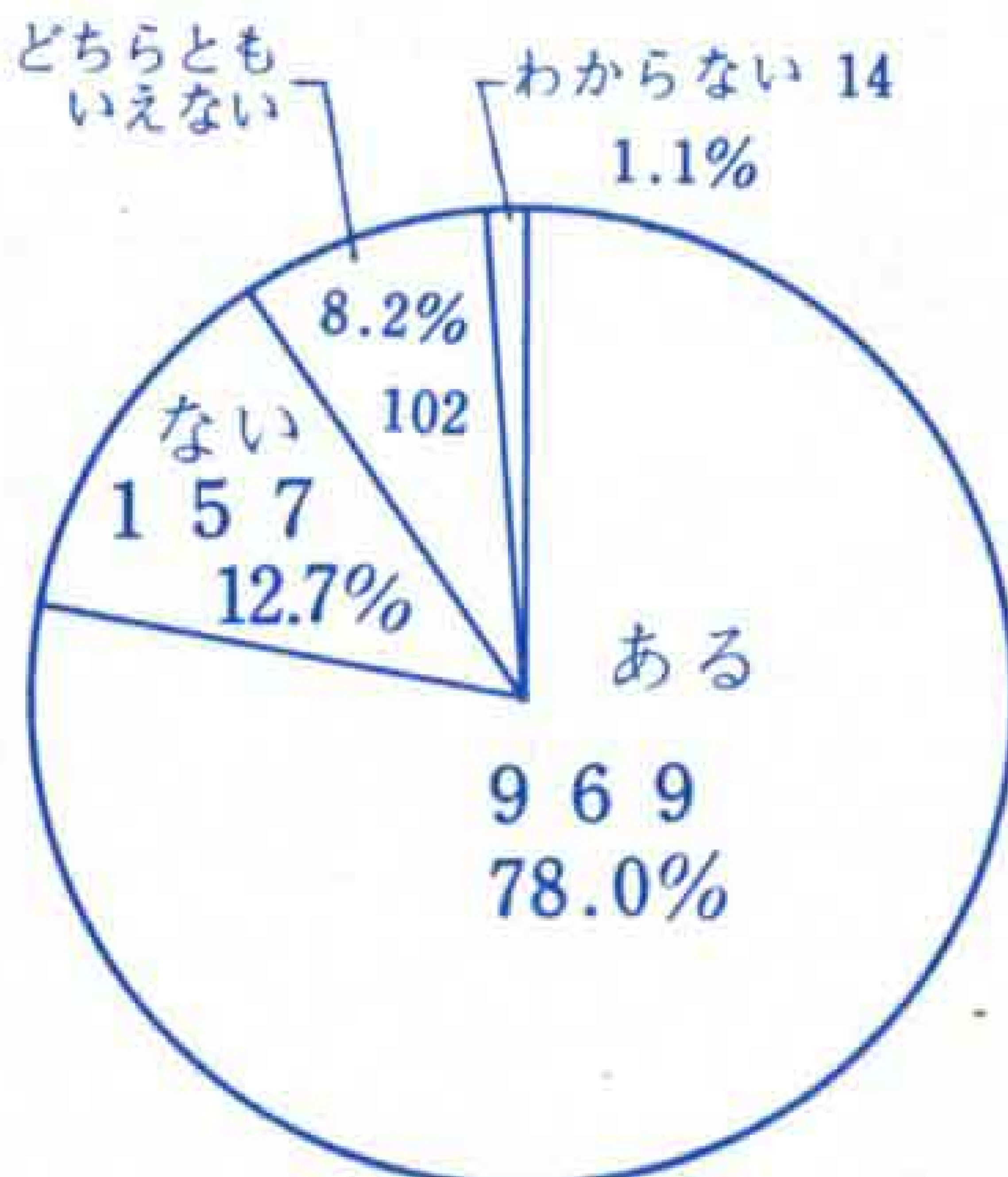
なお、吉原地区のうち元吉原地区は86人のうち25.6%の22人が移りたいと答え

ています。伝法地区は105人のうち20%の21人が移りたいと答え、高い比率を示しているのが目立ちます。

移りたい理由としては、101人が「環境が悪いから」、25人が「暮しにくいから」をあげ、公害の町という汚名があるように、生活環境に対する不満が多く表われており、全体の72.4%が不満を示しています。

このほか、仕事のため5.7%、家庭の事情6.9%、子どもの教育のため2.9%などとなっています。

3. あなたの住んでいる地区で不満に思っていることがありますか



住みごこちに対してなんらかの不満をもっている人が約80%近くを占めています。地区別では鷹岡82.1%、吉原78.4%、富士76.1%の順になっています。

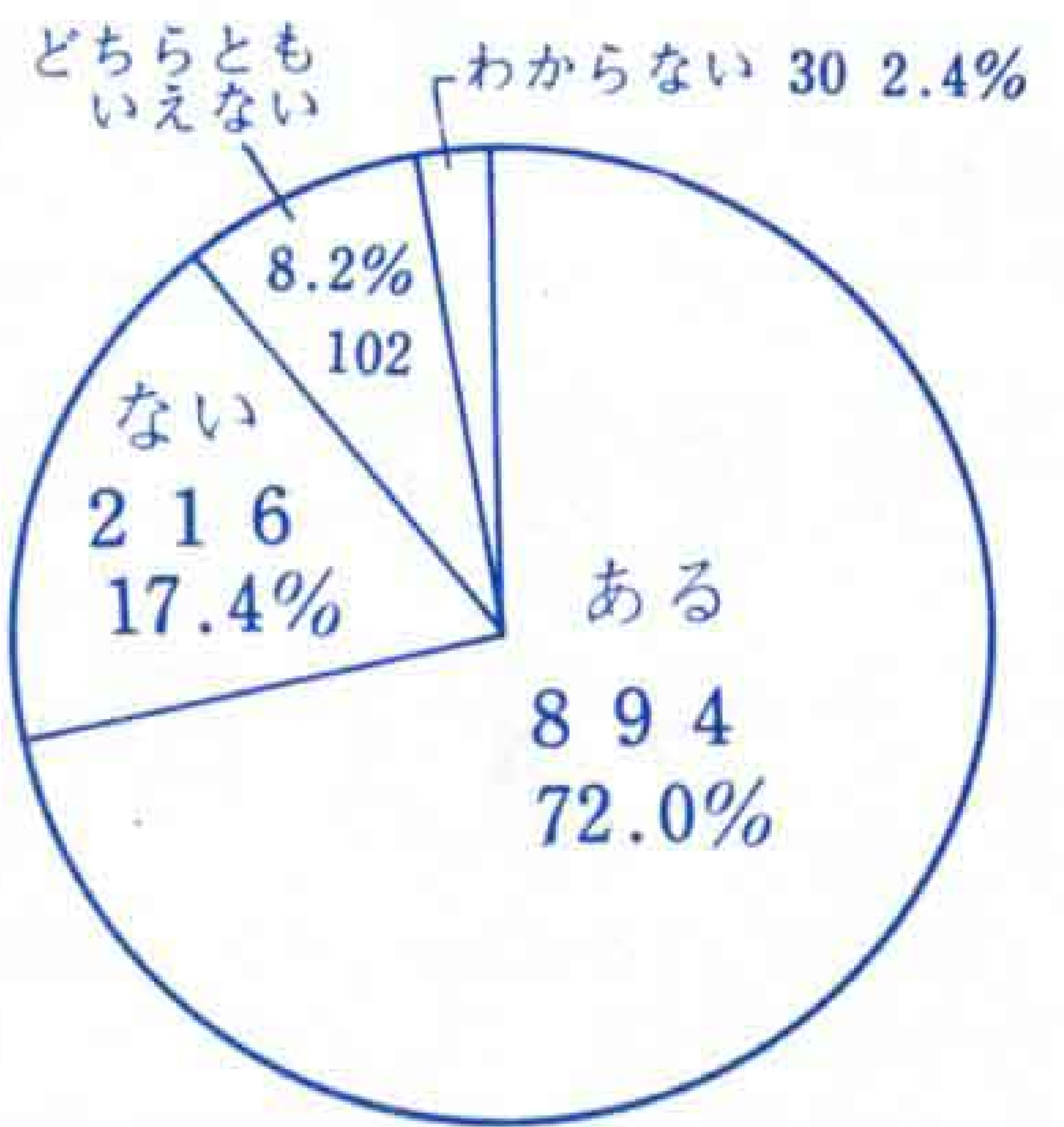
不満の理由としては、いやなおいがする12.1% (363人)、カヤハエが多い8.8% (264人)、川がきたない8.4% (250人)、騒音が多い8.2% (245人)、ばい煙が多い7.7% (232人)、道路が悪い6.6% (199人)の順になっています。

地区別の不満の内容は、吉原地区はいやなおいがする12.3%、カヤハエが多い8.9%、ばい煙が多い8.4%、騒音が多い8.0%の順になっています。富士地区はいやなおいがする13.0%、川がきたない9.1%、カヤハエが多いと騒音が多いがそれぞれ8.4%の順になっています。鷹岡地区は、川がきたない10.9%、カヤハエが多い9.9%、いやなおいがすると騒音が多いがそれぞれ8.5%の順にな

っています。

このほか、地区別の特色として鷹岡地区では「学校が遠い」、「買物が不便」、「防火施設が少ない」などがあげられています。富士地区は「買物が不便」、「交通の便が悪い」があげられています。

4. あなたが住んでいる地区で施設がなく不便を感じていますか



公共施設に対する不満は1242人のうち894人(72%)がもっています。

地区別に不満の度合いがもつとも多いのは鷹岡地区で83.8%、富士地区は76.4%、吉原地区は67.5%となっています。

不便を感じている施設としては、こどもの遊び場12.7%、病院10.0%、防犯灯8.2%、公園8.1%、下水道7.7%、駐車場6.2%、ポスト6.1%の順になっています。これをさらに地区別にみると次のようになります。

吉原地区は、こどもの遊び場13.0%、病院9.3%、下水道9.2%、防犯灯8.5%の順になっています。

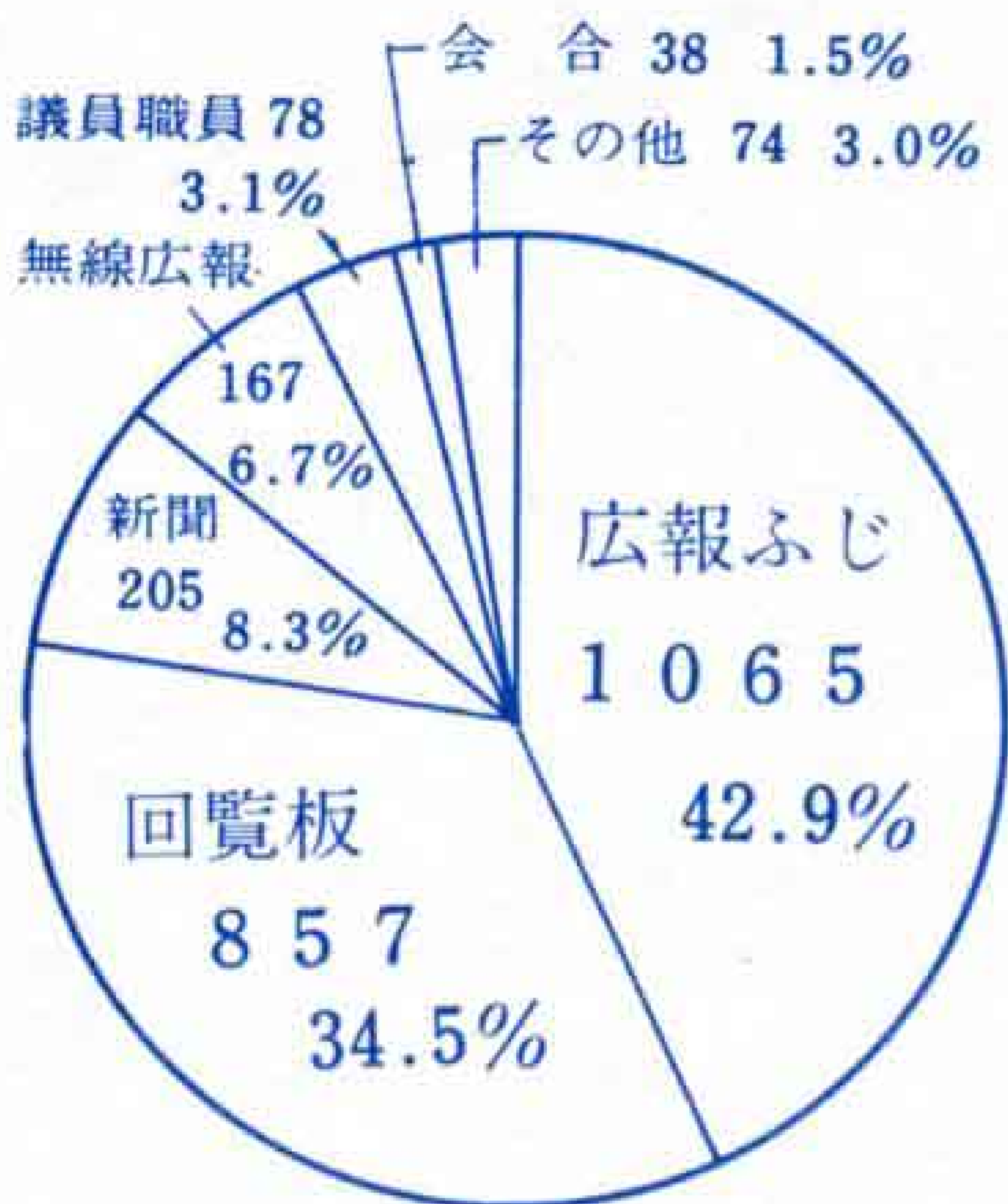
富士地区は、こどもの遊び場12.5%、公園11.0%、病院8.6%、防犯灯7.8%の順になっています。

鷹岡地区は、病院17.1%、こどもの遊び場12.5%、防犯灯8.2%、公園7.2%の順になっています。

とくに鷹岡地区の病院に対する要望が17.1%と高いのが目立っています。なおもつとも不満の少ないものは、各地区を通じて水道で、平均0.6%の要望になっています。

どう思ますか……

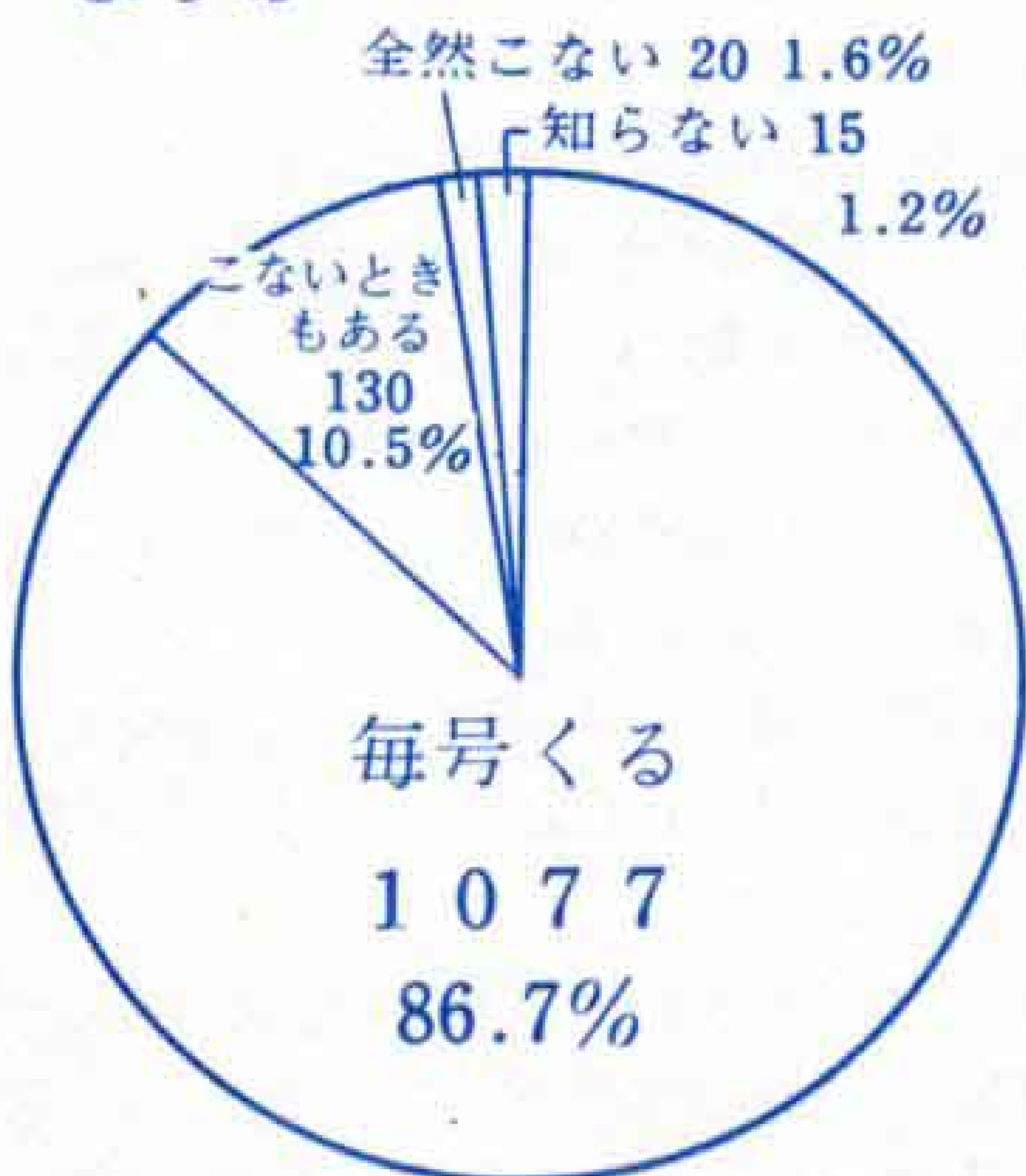
5. 市役所の仕事を何で知りますか



市役所の仕事を知る方法として広報紙が42.9%、会合によつて知るのが一番少なく1.5%となつています。

地区別に全体の平均以上のものは、吉原地区が広報無線7.5%、回覧板の35.9%。富士地区は広報紙の46%、新聞記事の9.7%。鷹岡地区は回覧板が38.6%、議員や市職員の4.1%となつています。

6. 広報ふじが毎号お宅へ届きますか



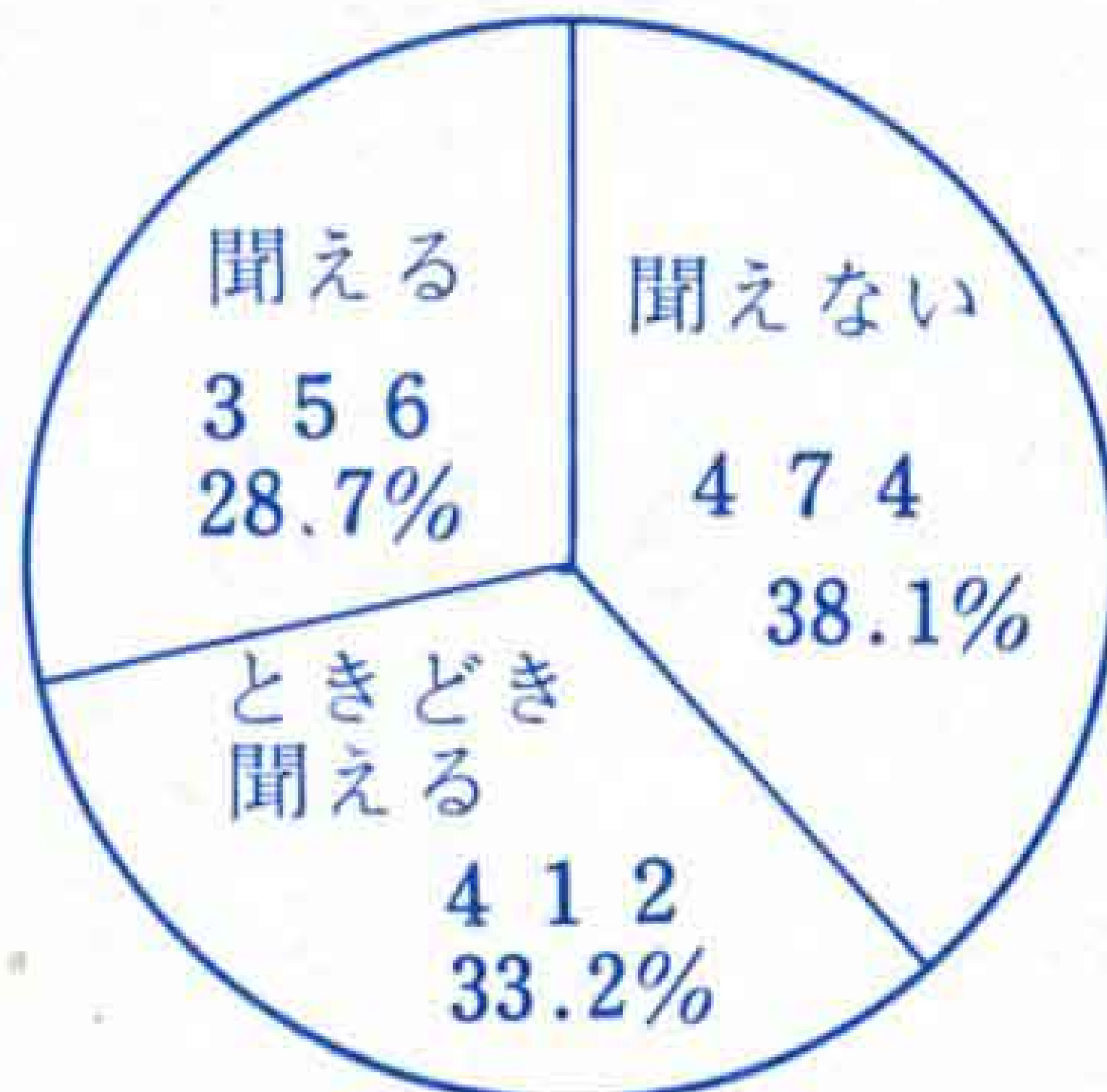
毎号くる、こないときもある、と答えた人が97.2%を占めており、約50,000世帯のうち48,600世帯の家には広報紙が届いていることとなります。

広報紙が毎号くる、こないときもあると答えた人のうち、くわしく読む人が、36.2%、必要なことだけ読む人が36.1%

ざつと見る人が26.2%、読んだことがない人が1.5%となつています。

各家庭に広報紙が届くのは、発行日から4日から7日が47.8%、8日から10日が25.8%、1日から3日が14.5%、10日以上が11.9%となつています。地区別では、吉原地区は7日以内に届くのが65.5%、富士地区は62.6%となつています。ところが、鷹岡地区は7日以内に届くのは43.4%と他地区に比べ20%くらい低くなつています。とくに鷹岡地区の10日以上かかるのが23.3%もあるのが目立っています。

7. 広報無線が聞えますか



聞える、ときどき聞えるを合計すると61.9%になり、約31000世帯がある程度聞えると判断されます。しかし、19000世帯くらいが聞えないと推察されますので、現在の受信局104カ所を150カ所にする必要があります。

地区別では、鷹岡地区の聞えるが35.8%でもつとも高く、ついで吉原地区の30.6%

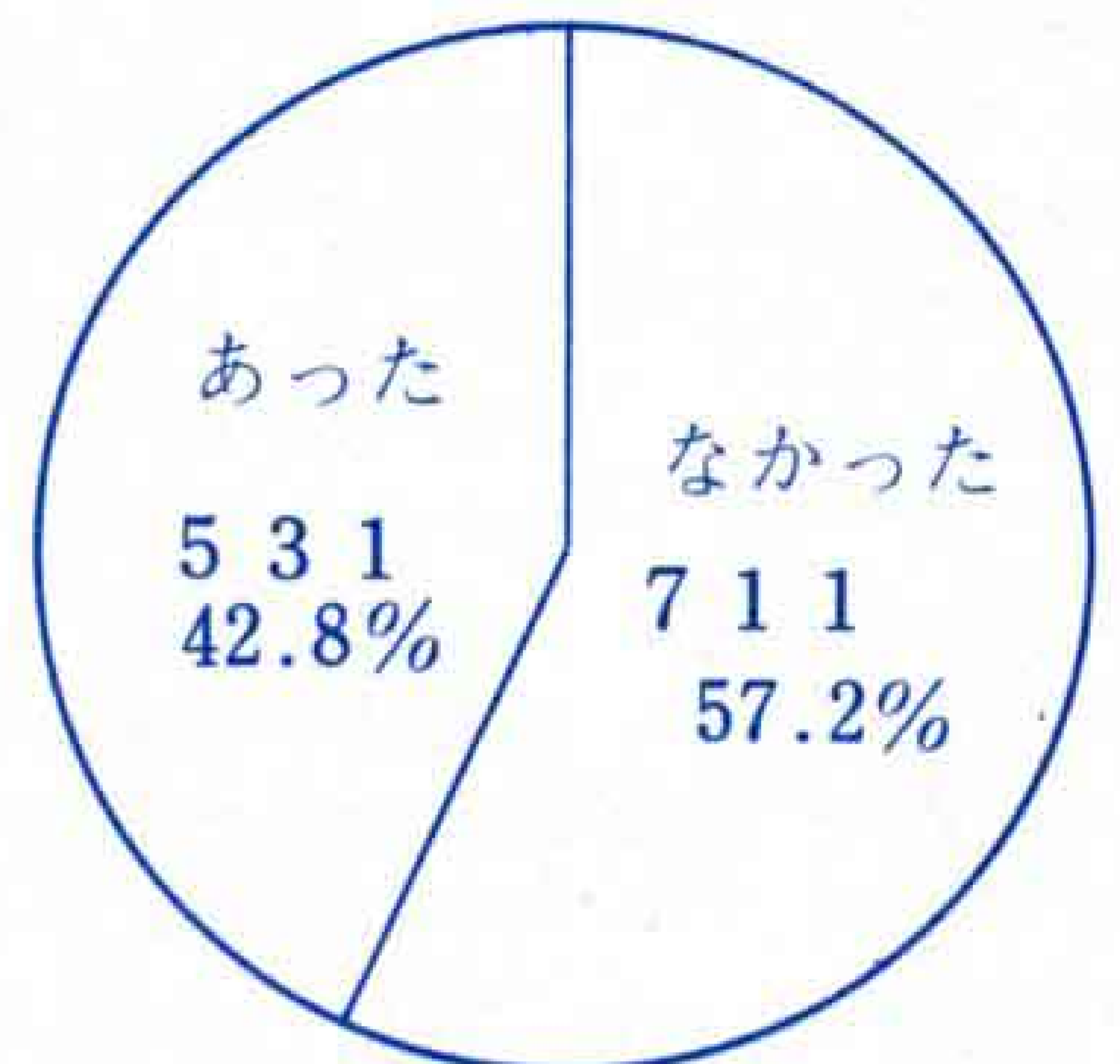
■これから市役所がとくに力を入れて実施してほしいものは

要望のあつたのは全部で3725。このうち、公害をなくすが22.3%の829件、交通事故をなくすが10.0%の374件、道路をよくするが8.8%の326件、医療機関の充実が7.4%の278件となつています。

ほとんどの人が公害に対する関心をもつており、公害をなくしてほしいという強い要望をもつていることがわかります。地区別にみると、各地区とも「公害を

なくす」の順となつています。

8. 最近1年間に市役所へ投書したいような不満がありました



昨年1年間に市役所に対する不満のあつた人が42.8%ありました。地区別にみると、一番多いのが鷹岡地区の48.8%、ついで吉原地区の42.4%、富士地区の41.6%となつています。

不満のあつた人はどのような手段をとつたか一をみると次のようになります。何もしなかつた人が41.2%、市役所へ投書や電話をした人が13.8%、市議会議員に話した人が11.1%、町内会の役員に話した人が9.8%、担当課へ直接いつて話をしたが9.0%、市の職員に話した人が7.9%の順になつています。

何もしなかつた人は219人。その理由として、いつてもだめだと思つた43.8%、市は当然知つていると思つた26.9%、めんどろだから15.5%、どうしたら良いかわからなかつた8.7%となつています。

なくす」が1位で、鷹岡地区の23.3%、吉原地区の22.5%、富士地区の21.5%となつています。このほか、10%を超えているものに鷹岡地区の「医療機関の充実をはかる」が10.9%となつているのが目立っています。

また、要望の少なかつたものでは「公民館活動を活発に」「水道事業に力を入れる」が鷹岡地区では0になつており、富士地区と吉原地区でも、他の項目にくらべ相当低くなつています。